

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
(コード 8732 大証ヘラクレス)
問合せ先 取締役CFO 中西 典彦
(TEL. 03-4540-3804)

平成21年4月3日発生 of 当社子会社における システム障害についての対応完了のご報告

平成21年4月3日(金)に発生いたしました当社子会社である株式会社マネーパートナーズにおけるシステム障害について、障害原因の特定ならびに一連の改修作業および確認作業が完了いたしましたので報告申し上げます。

1. 障害の内容について

平成21年4月3日(金)21時35分頃より24時30分にかけて、子会社の提供する外国為替証拠金取引(FX)システムにおいて、基幹データベースの遅延によるシステム障害が生じ、お客様の利用する取引環境が不安定な状態となり、一部のお客様につきましてはログイン出来ないまたは注文執行できない事象が発生いたしました。

2. 障害発生の原因について

下記の事象が複合要因となり、取引システムのレスポンス低下、および一部ログイン不可となる事象が発生いたしました。

- ① お客様が取引システムにログインする際に使用される基幹データベースサーバにおいて、サーバ本体のメモリが枯渇状態となり、その結果、基幹データベースサーバの応答が全体的に遅くなりました。
- ② 同時時間帯において基幹データベースサーバ内に搭載されているミドルウェア(Oracle Database 10.2.0.3)の製品上の不具合が起因し、ログイン時に使用されるデータベース領域内のデータの読み出しにおいてロック機構での競合が多発し、その結果として急激なレスポンス悪化が発生しました。

3. 対応について

まず、応急の対応として、4月11日(土)のシステムメンテナンスにおいて基幹データベースサーバ本体の搭載物理メモリ容量を増強し、安定的なメモリ使用量の確保を図りました。さらに、5月2日(土)のシステムメンテナンスにおいては、Oracle Database 10.2.0.3に含まれていた不具合への応急対応として、該当する不具合が発生する条件を回避するために、ログイン時に使用するデータベース領域に関してインデックス再作成方法を変更した運用を開始いたしました。

最後に、5月23日(土)には、根本的な不具合への対応として、日本オラクル社の提供する情報に基づき該当不具合への対応パッチ(修正プログラム)を入手し、取引システム本番機を使用したテスト環境において他のサービスへの悪影響が無いことを検証した上で基幹データベースサーバへの適用を実施いたしました。

これらの対応の過程において、子会社のシステムの設計、開発、運用等に関わる取引先である日本ヒューレット・パカード社、日本オラクル社、マネーパートナーズソリューションズ社およびシンプレクス・テクノロジー社各社のご協力のもと、障害再現性試験、高負荷試験、改善策の有効性試験、他サービスへの無影響試験等を実施し、最終的に今回の事象が回避され、設計どおりのシステムキャパシティが確保されること、および同様の障害が発生しないことを確認しております。

当社グループは、今回の事態を厳粛に受け止め、今後このようなことのないようグループ全社を挙げて、よりお客様に安心してお取引いただける環境を提供するべく、インフラの増強、アプリケーションの提供等を行ってまいり、一日も早くお客様からの信頼回復に努めてまいる所存でございます。

以 上